

美しい 県土づくりNEWS



2007 年

10 月

岩手の風景

岩手県県土整備部
手づくり広報誌 39 号
平成 19 年 10 月 5 日発行
編集 県土整備企画室

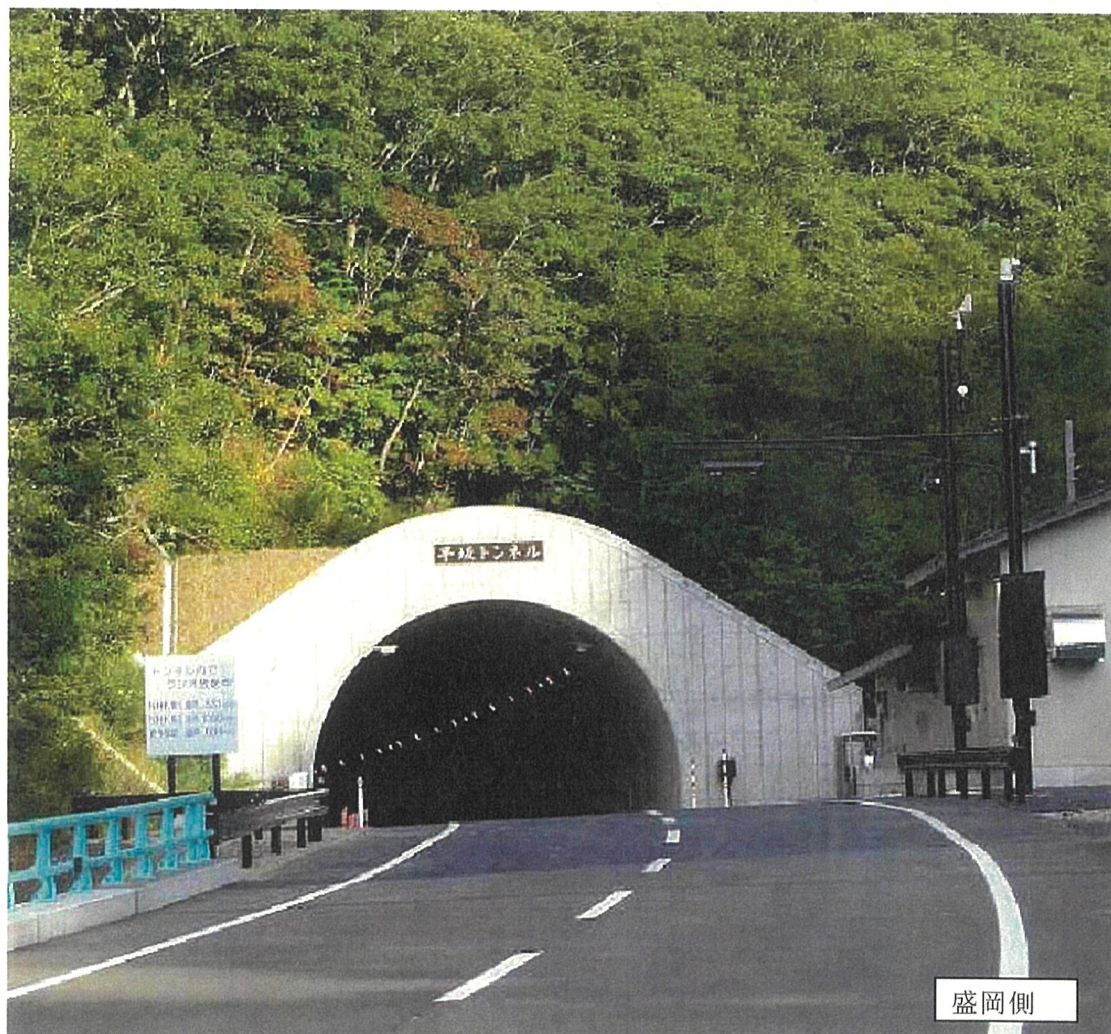


目次

- 2 一般国道 455 号「早坂道路」10 月 8 日開通！！
- 4 道の駅「三田貝分校」オープン
- 5 台風 9 号と 9 月 16 日～18 日豪雨による被災状況
- 6 下水道フェスタ 2007 を開催
- 8 道の日イベント Part 2
- 11 住民協働 河川子供探査会
- 12 パートナー紹介～NPO 法人わが流域環境ネット～
- 13 市町村の動き 久慈市 新中心市街地活性化基本計画
- 14 9 月 10 日は「屋外広告の日」
- 15 花巻広域公園ぎんがのもり夏まつりを開催！
- 16 いわて花巻空港スカイフェスタ 2007 を開催！
- 17 “新” いわての暮らしの博覧会 住まエネフェスタ 2007 を開催
- 18 いわて花巻空港をご利用される皆様へ
- 19 いわてハウジングフォーラム 住まいる講座
- 20 県立花巻広域公園県民ゴルフ場からのお知らせ

～希望をのせて～早坂道路が開通します！

岩泉町と盛岡市を結ぶ早坂道路が、10 月 8 日に開通します。この道路の開通により、沿岸北部と盛岡市がぐ～んと近くなります。ヘアピンカーブが解消され、時間も通常で 10 分（冬期は 15 分）短縮されます。道路開通に合わせて、地域の新しい顔「道の駅 三田貝分校」もオープン。紅葉シーズンももうすぐです。早坂道路を走ってみませんか。P2～4 に関連記事掲載。



盛岡側

一般国道455号「早坂道路」10月8日 開通！！

平成19年10月8日、一般国道455号「早坂道路 4,170m」(内トンネル延長 3,115m)が、開通します。

早坂道路の開通により解消される早坂峠は、急カーブ、急勾配が連続する県内屈指の交通の難所でした。特に冬場は、積雪、凍結によるスリップ事故が多発するなど、安全で円滑な交通の支障となっていたことから、平成10年度に道路改築事業に着手したものです。

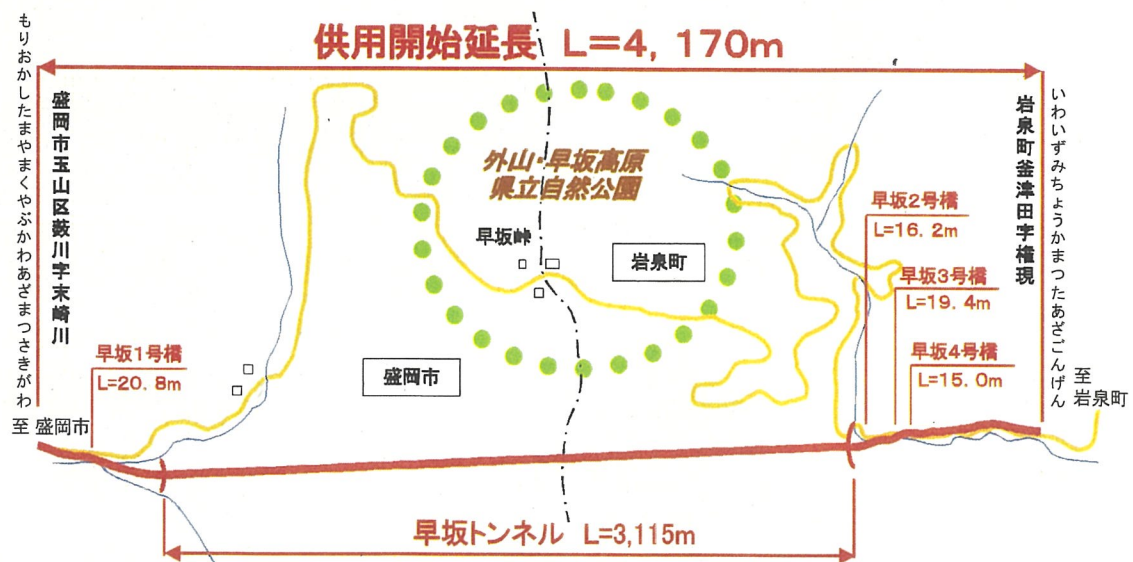
早坂道路内の「早坂トンネル」は、県が施工したトンネルでは最長となる3,115m。

今回の開通により、通行車両の交通の安全が確保され、地域間の交流・連携の促進、産業・観光等の振興と発展に大きく貢献することが期待されています。

10月8日(月)午前10時から早坂トンネル岩泉側付近で開通式が行われ、一般車は同日の午後2時より通行できます。

1. 開通区間の概要

- 事業名 / 道路改築事業
- 事業期間 / 平成10年度 ~ 平成19年度
- 事業延長 / 4,170m
- 道路規格 / 第3種第4級 設計速度 50km/h
- 幅員 / 9.5m
- 主要構造物 / トンネル1箇所 延長 3,115m、橋梁4箇所 全体延長 71.4m





(早坂トンネル盛岡側坑口 H19.9 月撮影)



(冬の早坂峠)

2. 事業の経緯

一般国道455号早坂峠は、急カーブ(68ヶ所:内ヘアピンカーブ12ヶ所)、急勾配箇所(最急勾配9%)が連続し、ドライバーへの大きな負担となっていました。

このことから、峠部の隘路区間の解消を図るため、平成10年度から道路改築事業に着手したものです。

- 平成10年度 事業採択
- 平成12年度 トンネル本体工事着手(H12. 12月)
- 平成15年度 改良工事着手
- 平成16年度 トンネル貫通(H16. 6月)
- 平成17年度 トンネル本体工事完成(H17. 2月)、トンネル管理設備工事着手
- 平成19年度 盛岡側、岩泉側舗装工事

3. 整備後の事業効果

- * 急カーブ、急勾配が解消され、特に冬期間の**安全で円滑な交通の確保**が図られます。
- * 盛岡市～岩泉間が**10分短縮**されることにより、**物流、観光産業支援・観光地へのアクセス向上・流通の効率化・地域医療の支援(患者搬送時間短縮)**が図られます。

区 分	現 在	整 備 後
区 間 延 長	約9.7km	約4.2km
通過点最高標高	905m	710m
急 カ ー ブ 数	68ヶ所(内ヘアピン12ヶ所)	なし
最 急 縦 断 勾 配	9.0%	5.8% (トンネル内 2.67%)
通過時間 (冬期)	約15分(約20分)	約5分(約5分)

岩手県で29番目の「道の駅」として、平成19年10月8日（早坂トンネル開通と同日）午前8時に「道の駅 三田貝分校」がオープンします。

岩泉町の西の玄関口となる休憩施設として、岩泉町と岩手県が協力して設置します。

「三田貝分校」は、その名が示すとおり現在では廃校になった岩泉町立門小学校三田貝分校の跡地を利用し、建物の外観だけでなく中の様子、軽食のメニューにいたるまで当時の分校をイメージしています。

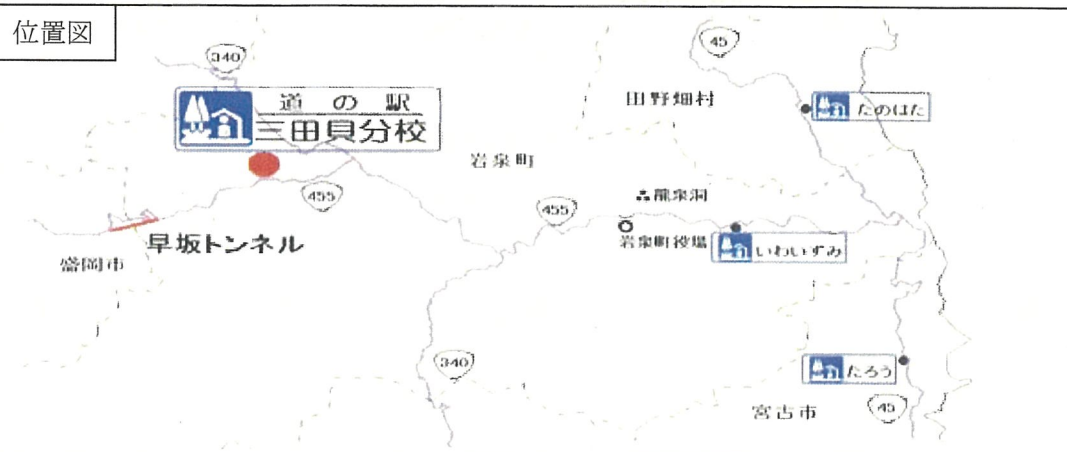
「道の駅」は、休憩、食事、買い物、地域観光案内だけではなく、道路情報を発信する役割を持っています。快適安全な運転のために、道の駅を「適度な休憩」と「道路情報の活用」の場としてぜひお役立てください。

1 施設概要

休憩施設	駐車場（普通車33台 大型車8台 身障者用1台） トイレ（オストメイト対応）
地域振興施設	軽食、農林水産物等直売所、地場産品展示販売所

2 事業計画

- (1) 事業主体 岩手県・岩泉町
- (2) 事業期間 H18年度～H20年度
- (3) 全体事業費 256百万円
- (4) 道の駅登録日 平成19年8月10日



災害情報

台風9号と9月16日～18日豪雨による公共土木施設の被災状況

砂防災害課

1 被害状況について

台風9号と9月16日～18日豪雨による県土整備部所管公共土木施設の被災状況は次のとおりです。

(平成19年9月26日17時現在)

河川を中心に、合計約86億円の被害を受けました。

台風9号		
施設	箇所	被害額(千円)
河川	129	1,730,960
道路	118	1,011,300
橋梁	1	50,000
砂防	3	16,800
公園	0	0
海岸	0	0
港湾	1	12,000
下水道	0	0
計	252	2,821,060

9月16日～18日豪雨		
施設	箇所	被害額(千円)
河川	287	3,732,360
道路	180	1,423,074
橋梁	4	455,800
砂防	2	151,000
公園	0	0
海岸	0	0
港湾	0	0
下水道	0	0
計	473	5,762,234

2 被害状況写真



3 今後の対応等

被災箇所の復旧金額を決定する災害査定については、11月中旬に行うことで関係機関と調整中です。緊急に復旧を要する箇所については、直ちに着手するなど早期復旧に努めていきます。

下水道フェスタ'07を開催

9月8日

(財)岩手県下水道公社

昭和36年に「全国下水道促進デー」として始まった「下水道の日」は今年で47回目を迎えました。

「9月10日は下水道の日」の記念行事として、都南浄化センターを会場に下水道フェスタ'07を開催し、592名の来場者でにぎわいました。

下水道の日

下水道は、「浸水から街を守る」という重要な役割を持つことから、立春から数えて220日、統計的に台風などが多いこの時期に下水道の日が設けられました。

◇ イベントの目玉「下水道ツアー」

「下水道ツアー」は、下水が浄化され川に戻るまでの流れを施設ごとに見学できるイベントの目玉であり、下水処理の過程を体験するものです。

見学時間は約1時間、①油分等の固まりであるスカムや細かいゴミを取り除く最初沈殿池、②最初沈殿池からオーバーフローした下水中の汚濁物質を活性汚泥（微生物の集まり）の力で除去する反応タンク、③活性汚泥と浄化された上澄み水とに分離する最終沈殿池、④取り除いたゴミ等（汚泥）を処理する汚泥処理設備を見学していただきました。

「下水を浄化するほかに、汚泥はリサイクルしている。汚泥を発酵させた後に、水分を取り除いて脱水ケーキにする。脱水ケーキの大部分は焼却して、灰をセメントの原料に、脱水ケーキの一部は堆肥にしている。」との職員の説明に、見学者からは「下水を処理して川に流すだけでなく、汚泥もすべてリサイクルされていることを知り感心した。」との声が多数聞かれました。

◇ このほかにも

下水道ツアーの他にも、微生物シアター、廃油キャンドルづくり、下水道スタンプラリーなど下水道の知識や環境を守る大切さを理解できる様々なイベントを行い、子供から大人まで楽しんでいただきました。

これをきっかけに下水道を大切に正しく使っていただき、また、下水道の接続普及が進むことを願っています。



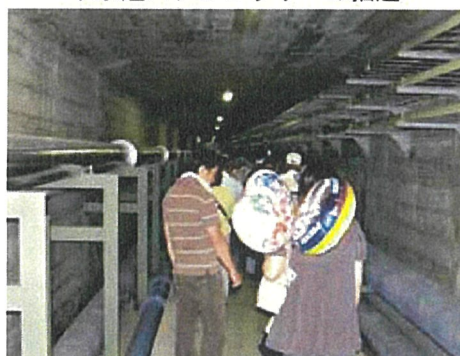
開場式の様子



下水道スタンプラリーの抽選



下水道ツアー（最終沈殿池）



下水道ツアー（管廊）



微生物シアター



紙すき、廃油キャンドルづくり



下水道関連機械の操作体験（バックホウ）



下水道関連機械の操作体験（調査用カメラ）

「道の日」イベント！ Part 2

9月号からの連載です。道路は生活に欠くことのできない基本的な社会資本ですが、あまりに身近な存在のため、その重要性が見過ごされがち。

8月10日の「道の日」を中心に、県内各地で開かれたイベントの様子をご紹介します！

もうひとつの「塩のみち」～旧伊保内街道～

8月10日

久慈地方振興局土木部

主要地方道一戸山形線は、旧山形村から一戸町に至る道路です。このうち旧山形村の日野沢から九戸村の伊保内までの区間は「伊保内街道」と呼ばれ、現在の県道の北側を通過しており、塩をはじめ、生活に必要な物資を運ぶ人、牛、馬が行き交っていたとのこと。

「塩の道」といえば、野田から平庭峠を経て盛岡や秋田県の鹿角まで塩を運んだ塩の道が有名ですが、旧伊保内街道も塩が運ばれていたということから、「もうひとつの『塩のみち』」というタイトルを掲げました。

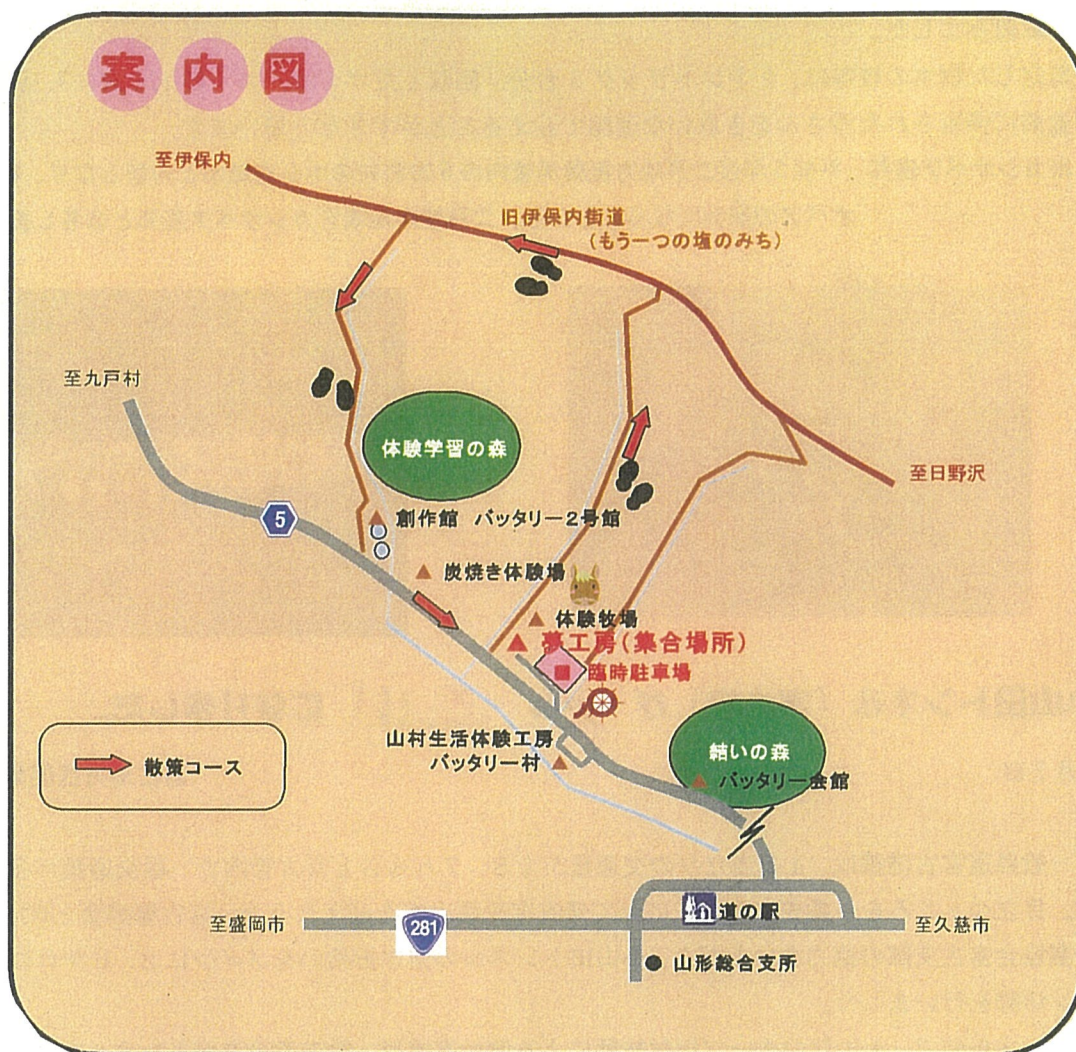
イベントでは、「一戸山形線の歴史と景観を考える会」の木藤古徳一郎バッテリー村長から、講演をしていただいた後、木藤古村長を先頭に旧伊保内街道約2kmの道のりを歩きました。

木藤古村長は、説明の中で旧伊保内街道は、塩を運んだだけでなく、生活に必要な物資を内陸から運んだ「命の道」でもあるということ。また、今回は約300mしか歩きませんが、今後、道の日イベント等を通じて旧街道を全て踏破し、広く紹介したいという話がありました。ちなみに、旧伊保内街道は、市販の地図上にもそれらしき線が引いてありますが、地図によって一部区間のルートが違っていたり、途中で途切れていたりしています。踏破することで、真のルートが確認できるものと思います。

なお、今回のイベントは、一般参加者2名、振興局と市町村の職員21名、建設業協会久慈支部青年部会25名のほか、一戸山形線の歴史と景観を考える会2名、バッテリー村住民7名（うち6名は滞在中の東京農業大学生）の、合計57名の参加がありました。バッテリー村住民の方には、事前の草刈りや、当日の道案内等のご協力を、また、建設業協会には看板設置や駐車場での誘導等のご協力をいただき、みんなで汗を流した貴重なイベントになりました。

今回は一般参加者が少なかったもので、次回は、もっと参加しやすいよう工夫していきたいと考えています。





二戸地区「北の道クリーンキャンペーン」22路線約300km無事終了

8月3日

二戸地方振興局土木部

キャンペーンは、岩手県建設業協会二戸支部青年部が平成5年度からはじめて今年度で15回目になります。

今年は、国、県、市町村が後援として加わり、道路関係者が一丸となって、カシオペア連邦(※)を結ぶ国道、県道、市町村道のクリーンキャンペーンを行いました。

青年部が二戸市と一戸町の小公園や街路樹の剪定作業等を行い、その他が管内の道路22路線、約300km(盛岡東京間の約6割の長さ)の清掃活動を行いました。

清掃した主な路線-国道(4号、340号、395号)、県道(二戸田子線、二戸五日市線、二戸九戸線、軽米種市線、戸呂町軽米線、軽米九戸線、一戸山形線、一戸葛巻線)、市町村道(二戸市、軽米町、九戸村、一戸町)

参加人数は108名(青年部:35人、国3人、県44人、市町村26人)で、当日は台風5号が東北地方に接近しており、曇り空ながら気温は30℃近くある中、汗だくになりながら約3時間の清掃活

動に取組みました。

剪定した樹木の枝等は、2 トントラック 5 台分、回収したゴミは、ゴミ袋 124 袋にも及びました。お盆前に帰省された皆さんをきれいな道路で迎えることができましたと思います。

※カシオペア連邦：平成3年度二戸地方振興局管内の5市町村の中心を結ぶW型となり、星座のカシオペアの配列になることから、二戸管内地域をカシオペア連邦と命名しました。



小山田トンネル（宮古市）が 少し **きれい** になりました。

8月2日

宮古地方振興局土木部

一般県道宮古港線は、1日当たりの交通量が18,768台と宮古管内で一番交通量が多い道路です。目立つところを一番先にキレイにして帰省客や観光客を迎えようと、宮古警察署と(財)岩手県建設業協会宮古支部の協力をいただき、小山田トンネルの空き缶拾いをメインに2.6キロの道路クリーン活動を行いました。

トンネル前で、土木部のホープ田村技師による開始宣言後、参加者全員がトンネル内に入り、宮古警察署の協力による全面通行止めを合図に、総勢84人が一斉に車道に出て空き缶などを拾いました。作業時間はわずか10分間でしたが、トンネルだけでゴミ袋30袋、全体では50袋というバツグンの成果を挙げました。



住民協働

河川子ども探査会の開催！

北上総合支局土木部

☆はじめに

北上総合支局では、「きれいな水を守る**環境**づくり」のため『わが川流域水循環計画』を策定し、ふるさとの森や川をみんなで大切にする取り組みをおこなっています。平成19年度の取り組みの1つとして「和賀川」の果たしている役割や環境の大切さを**子どもたち**（北上市飯豊地区の子どもたち中心）に学んでもらう取り組みを「NPO わが流域環境ネット」と協働で行いました。

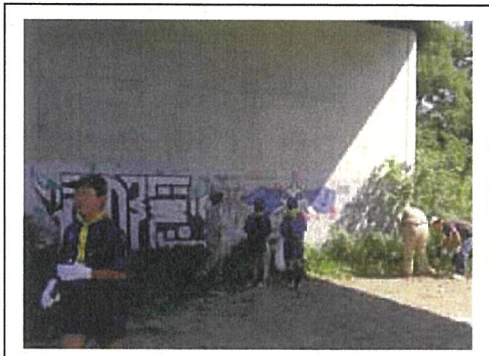
8月22日（土）

◎ボランティア体験

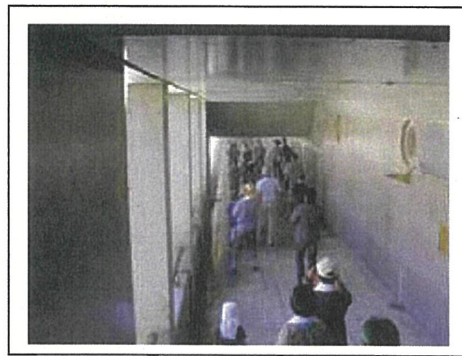
- ・ 和賀川 和賀中央橋付近のゴミ拾い及び河川パトロールで不法投棄場所の調査や橋梁の落書きの調査を行いました。

◎河川における公共施設の探検

- ・ 湯田ダムの見学
監査廊の探査に子どもたちは、“わくわく” 長い階段部を踏破しました。
- ・ 湯田ダム 上流の貯砂ダム見学
水しぶきの迫力に“びっくり” 水のカーテンに大はしゃぎで一番盛り上がりました。



和賀中央橋の落書き探検



貯砂ダム

- ・ 企業局 県仙人発電所の見学
大きな発電機にみんな“びっくり” していました。
- ・ 岩手中部浄水場の見学
川の水から水道水を作る実験や施設に興味津々。

参加した子供たちは、ほぼ丸1日、和賀川のさまざまな川に関する施設見学や河川パトロールを通じ河川への認識を新たにしていました。

パートナー紹介

自然との共生に向けて

北上総合支局土木部

北上総合支局土木部では、公共事業と自然との共生を重点施策の1つとして取り組んでいます。一緒に取り組んでいただいているNPO **特定非営利活動法人わが流域環境ネット（代表理事及川一さん）** を紹介します。

活動の目的：この法人は、住民、団体、事業者、研究者、行政等のあらゆる主体と連携しながら、私たちが暮らす流域環境の保全と調和を図り、ふるさとの豊かな水と緑を次の世代に引き継ぐために、自然環境を基軸とした流域づくりを推進し、持続可能で環境と共生する社会の発展に寄与することを目的としています。植物、動物、昆虫などの様々な専門分野のメンバーがいます。（岩手県環境アドバイザー7名）

事務所：〒024-0094 北上市大通り1丁目3番1号 おでんせプラザぐろーぶ3F

Tel/Fax：0197-64-7411 E-mail：waga@ryuuiiki.net

I. 自然再生及び計画

過去に失われた自然を取り戻し、生態系の健全な回復や計画を行う。（親水公園の計画、自然型水路の再生、住民の話し合い）



環境との調和に配慮した公園計画



公園計画について住民と話し合い



動植物の生態に配慮した水路計画

II. 環境調査及び研究

希少動植物の調査や研究を行い、環境緩和の方法について検討する。（希少動植物の調査、水生生物調査、モニタリング調査）



絶滅が危惧される希少動植物調査



魚類や水生昆虫などの生き物調査



希少植物のモニタリング調査

III. 保全及び啓発活動

生物多様性の確保を通じて、自然と共生した環境の保全や市民啓発を図る。（森づくり、里地里山の保全、環境フォーラムの開催）



地域住民参加の森林ボランティア



湿地やため池や里山の保全活動



環境フォーラムの企画・運営

IV. 子どもの環境教育

ふるさとの豊かな環境を次の世代に引き継ぐために、自然の尊さや大切さを伝える。（ブナの森の観察会、和賀川に親しむ他）



ブナの森の自然観察会



身近な田んぼの生きもの調査



和賀川源流で魚を捕らえる川遊び

まちづくりにエンジン 全国で3番目 新しい中心市街地活性化基本計画がスタート

5月28日、改正中心市街地活性化法に基づき、久慈市中心市街地活性化基本計画が、内閣総理大臣に認定されました。全国で3番目の認定です。19年度から23年度までの5年間、「山・里・海を丸ごと愉しめるゆいが支える賑わい・安全の街」を基本コンセプトに、集中的にまちづくりが進められます。

基本計画に登載した主な事業

○観光交流センター等整備事業（風の館・山車創作体験館）

郷土食などが愉しめる産食体験館（食堂）や山車等の展示機能、広域観光インフォメーションなどを備えた「風の館」及び久慈秋まつりを継承する「山車創作体験館」を整備し、広く地域の歴史・文化をPRするものであり、広域観光の拠点として中心市街地の賑わいの創出に寄与する事業です。

○物産館等整備事業（土の館）

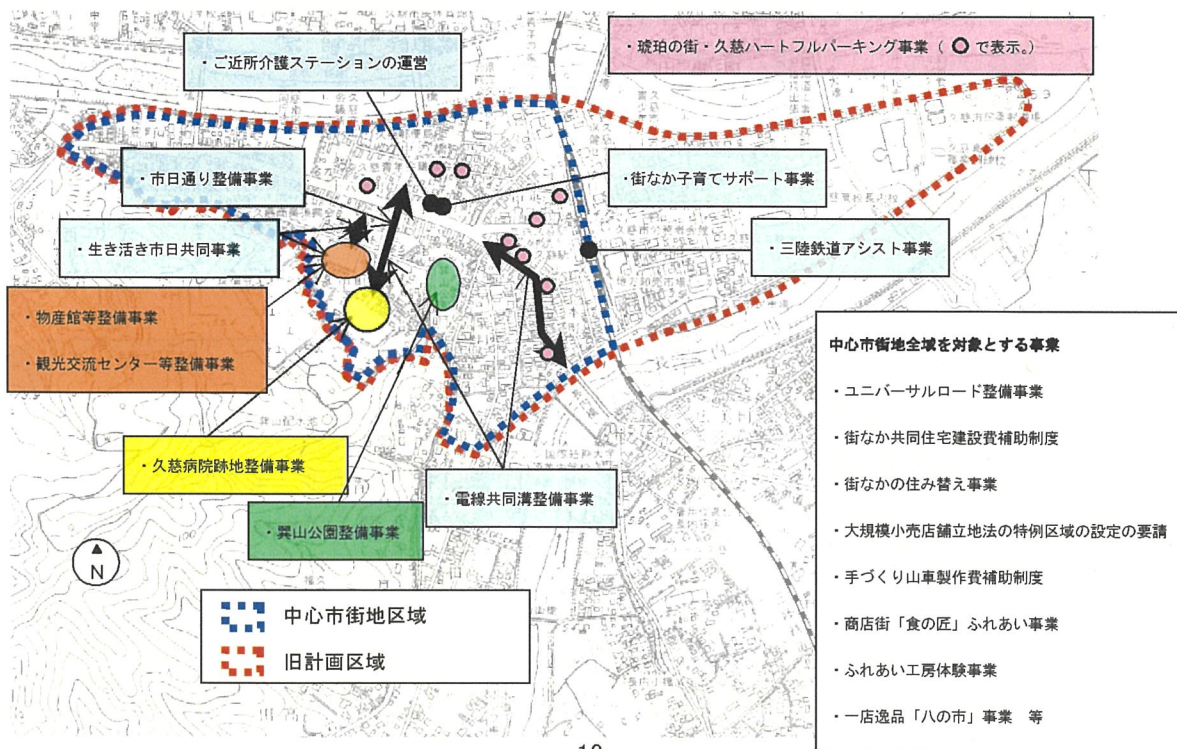
「風の館」に隣接して、テナントミックス店舗、レトロ館、レトロ風の軽食・喫茶スペースなどを備えた施設です。

また、国道 281 号からの歩行者専用アクセス路ともなる「歴通路（れとろ）広場」を整備し、日常のフリーマーケットや各種イベントへの活用により、交流人口の拡大を図ります。



久慈市の中心市街地と認定基本計画に位置づけた各種事業（抜粋）

※計画の見直しにあたって、中心市街地を各種事業を集中的かつ効果的に取り組む区域と定めることとし、旧計画の区域 72.2ha のうち、久慈駅西側の 41.4ha の区域に変更しました。



まちづくり

9月10日は「屋外広告の日」

例年9月10日、県では屋外広告美術業協同組合と、県下一斉の違反広告物パトロールを実施しています。

今年度は、簡易除却ボランティア「まちなみ清爽隊」の方々にも参加してもらい、違反はり紙やはり札などの簡易除却を行うとともに、危険な広告物がないか、点検・指導も実施しました。



簡易除却した違反広告物は、1日で約300枚(個)。特に電柱に糊ではりつけたはり紙は、なかなか取るのが難しく、剥離材とヘラを使っても、1枚に5分以上かかることもしばしば。ただ、美しい県土づくりは、このような地道な活動からしか始まりません!!

はり紙の簡易除却を行うまちなみ清爽隊の皆さん

また、危険な広告物の点検指導は、繁華街を中心に、職員が看板を目視で点検。危険な状態なのかどうかは、目視で判断することは難しいので、腐食が進んでいて管理があまりよく行われていない広告物の設置者に、定期点検や改修を指導しました。



除却したはり紙で、袋が一杯に!



繁華街の看板を一つひとつ確認しました。

屋外広告物の問合せ先は?

都市計画課 まちづくり担当

電話 019-629-5892【直通】

FAX 019-629-9137

e-mail ag0007@pref.iwate.jp

花巻広域公園ぎんがのもり夏まつりを開催！

花巻総合支局 土木部

Tel 0198-22-4971

7月29日（日）

県立花巻広域公園の夏の恒例イベント「ぎんがのもり夏まつり」が開催されました。うす曇りとはいえ午後には陽も差すまざる天気の中、約2000人もの来場者が訪れイベントを楽しみました。

今回の夏まつりでは、キッズマラソンやニュースポーツ体験といった「運動」、バルーンアートやシャボン玉、竹とんぼで遊ぶ「教室」、釣り大会や寄せ植えコンテストといった「自然」の3つがイベントのテーマとなっています。さらにこの日は公園内のテニスコートやグラウンドゴルフ場も無料開放されるなど、公園全体が夏まつりムード色になりました。

毎年たくさんの子供たちが参加するキッズマラソンでは、お父さんお母さんが応援する中、子供たちが元気に力走していました。みごと完走した子にはカブトムシや花の苗がプレゼントされ、とても嬉しそうな子供たちが印象的でした。



また、今年はグルージャ盛岡の選手6名が参加し、約40名の子供たちと広い芝生で鬼ごっこやボール遊び、サッカーゲームを楽しみました。無心にボールと戯れる子供たちに、選手たちの顔もほころんでいました。

このほか、釣り大会やバルーンアート教室なども今年初めて行われ、親子で仲良く楽しむ姿が見られました。また、毎年恒例のフリーマーケットは年々出展者が増えており、こちらもたくさんの人で賑わっていました。



「ぎんがのもり夏まつり」は毎年7月の海の日に開催されています。来年の皆様のお越しを心からお待ちしております。

問合せ先

花巻広域公園管理事務所（指定管理者：（財）岩手県スポーツ振興事業団）

〒025-0321 花巻市金矢第5地割252-1

電話 0198-27-3586

トビックス 空港

いわて花巻空港スカイフェスタ2007を開催！

花巻空港事務所

Tel 0198-26-2016

9月22日（土）

9月22日の土曜日、「いわて花巻空港スカイフェスタ2007」が盛大に開催されました。心配された天気も持ちこたえ、多くの皆さんがいわて花巻空港を訪れ、盛りだくさんのイベントを楽しみました。

このイベントは9月20日の「空の日」を記念して毎年行われているもので、今年で14回目になります。

イベントの目玉は、世界のエアショーで活躍する「ディープ・ブルース」の室屋義秀さんによるセスナ機のアクロバット飛行です。

きりもみ旋回や急降下、空中での一時停止など次々に披露される高度なテクニックに観客の皆さんから大歓声が沸きあがりました。

また、地元、花巻農業高校鹿踊部の皆さんによる春日流鹿踊りは、空港エプロンいっぱいに躍動感のある演舞を披露して、拍手喝采を浴びていました。

このほかにも、防災ヘリコプターによる救助デモンストレーションやセスナ機での遊覧飛行、大型化学消防車との綱引き、バスによる滑走路走行など、普段は立ち入ることのできない場所でのイベントに会場した家族連れは大喜びでした。



ステージショーや屋台村などもあり、この日一日、いわて花巻空港には子供たちの歓声が響き渡りました。

毎年この時期に行われるスカイフェスタで、「いわて花巻空港」をより身近に感じていただくことにより、利用促進の一助になればと願っております。

いわて花巻空港では、これからも地域の皆さんはもとより、広く県民の皆様に親しまれ活力のある空港を目指して事業を進めて参ります。

問合せ先

花巻空港事務所

〒025-0321 花巻市葛3-183-1

電話 0198-26-2016

トビックス 住まい

“新” いわての暮らしの博覧会「住まエネフェスタ2007」を開催！

8月31日(金)～9月2日(日)



会場全景



かしこい住まいのトークショー

8月31日(金)から9月2日(日)までの3日間、盛岡市アイスアリーナを会場に「住まエネフェスタ2007」を開催しました。

このイベントは、昨年に引き続き「いわて住宅祭」と「いわてクリーンエネルギーフェア」を合同で開催し、「世界に誇れる岩手の環境」の実現に向けた幅広い情報を提供するものです。太陽光など新エネルギー設備や環境にやさしい住宅、耐震住宅などを紹介し、3日間で16,153人が来場し、盛況のうちに終了いたしました。

特に、渡辺篤史さんの「かしこい住まいのトークショー」や浅草芸人Wコロンの耐震診断、子供たちに人気の獣拳戦隊ゲキレンジャーショー、大もちまき大会に加え、とんとんかん教室、壁塗り体験、ネイチャークラフト教室、積み木広場など、体験型の企画を大幅に増やした結果、お子様からお年寄りまでの幅広い年代のお客様に楽しんでいただきました。

たくさんの皆様にお越しいただき、誠にありがとうございました。

★★★★★★★★★★★★★家づくり講習会開催のお知らせ★★★★★★★★★★★★★

住まエネフェスタ2007にも出展があり、関心を集めていたのは、そうキッチンです。

どの家にも必ずあるキッチンですが、新築したり、リフォームする際にいざ選択すると、まず何色にしたらいいのかとか悩んだりしていませんか？

そこで今回の家づくり講習会は、キッチンをテーマに最新のキッチン事情とキッチンの色やトータルインテリア等について専門家の方からご講演をいただきます。参加料は無料ですので、ぜひこの機会にご参加下さい。

開催日時：平成19年10月16日(火)13:30～

開催場所：アイーナ5階501号会議室

定員：50名 参加費：無料

内容：第1部「理想のキッチンを見つけよう！」

講師：(社)インテリア産業協会東北支部

第2部「インテリアの基礎知識」

講師：インテリアコーディネータークラブ

綱木里香氏(予定)



住まエネフェスタ2007出展状況

参加申込・お問い合わせ：「けんみん住宅プラザ」019-652-7744 までご連絡下さい。

いわて花巻空港をご利用される皆様へ



空港課

いわて花巻空港に初めて「先得（さきとく）運賃」が11月から導入されます！

- 1 対象路線 いわて花巻空港⇄関西国際空港
- 2 片道運賃 18,600円～20,600円（通常運賃32,300円と比べ最大42%割引）
- 3 利用条件 ・予約及び購入は出発日の28日前まで。・販売座席数に制限。
・予約の変更は不可。

名古屋線・札幌線のダイヤが変わります！

1 名古屋線

○県内の企業にニーズが多い前泊（用務日の前日夕方発）出張に飛行機が利用しやすくなります。（下表②）

○中部地方の企業にとって日帰り出張が可能になります。（下表①②）

【現行：10月まで】

花巻 ⇒ 中部 ⇒ 花巻	
9:20→10:35	11:55→13:10
14:25→15:40	16:15→17:30

【改正後：11月から】

花巻 ⇒ 中部 ⇒ 花巻	
9:25→10:45	①7:40→8:50
②18:00→19:20	16:15→17:25

2 札幌線

○札幌での滞在時間を現行より長く確保できます（1泊2日の場合2時間半；下表③⑤）。特に札幌を出発する日の午前中を有効に活用できます。（下表⑤）

※ なお、名古屋線・札幌線は12月1日～20日・1月8日～31日は、例年どおり1往復減便になります。

【現行：10月まで】

花巻 ⇒ 新千歳 ⇒ 花巻	
13:45→14:45	7:50→8:45
18:05→19:00	12:55→13:50

【改正後：11月から】

花巻 ⇒ 新千歳 ⇒ 花巻	
③13:00→13:55	④11:05→12:05
16:25→17:30	⑤14:45→15:45

福岡への直行便休止（10月～）に伴う福岡方面の航空網の確保について

- 1 代替措置として関西国際空港と中部国際空港での乗継ぎすることで福岡での滞在時間が以前より長く確保できるダイヤになります。
- 2 いわて花巻空港発（関西国際空港や中部国際空港での乗継ぎ）の航空券と福岡市内等のホテルがセットになったお得な旅行商品も発売されます。（「ザ・スペシャル福岡」1泊2日 37,800円～）
- 3 運賃は往復等の割引を利用することで10%の上昇に留まります。（直行便運航時の往復割引と比較）

①花巻→福岡（10月）

花巻（発）	（経由空港）	福岡（着）	備考
花巻 9:20 → 10:35	（中部）	11:50 → 13:10 福岡	毎日
花巻 10:15 → 11:55	（関西）	13:05 → 14:15 福岡	毎日
花巻 15:30 →	（直行）	→ 17:30 福岡	火・木・土運航。10月～運休。

②福岡→花巻（10月）

福岡（発）	（経由空港）	花巻（着）	備考
福岡 12:45 →	（直行）	→ 14:40 花巻	火・木・土運航。10月～運休。
福岡 13:50 → 15:05	（中部）	16:15 → 17:30 花巻	12月上中旬・1月中下旬は運休。
福岡 14:55 → 15:45	（関西）	16:55 → 18:20 花巻	毎日

お知らせ

10月は、耐震促進運動月間です。

いわてハウジングフォーラム

平成19年度第4回いわて住まいの講座

第一部：住まいの“健康診断”受けていますか？

～模型で学ぶ住宅の耐震診断～

第二部：“健康診断”で悪い箇所が見つかったらどうするの？

～そんな時のアドバイス～

日時 平成19年10月29日（月） 14：00～16：30

会場 いわて県民情報交流センター（アイーナ）5階 501会議室

講師 田中 礼治 氏（東北工業大学工学部建築学科教授）

幅広い年齢層に「耐震診断」に対する講座を開講。模型等を使用した初心者にもわかりやすい説明が人気です。

入場料 無料



住宅の耐震診断は、人間
で言えば **健康診断** です。
この機会を利用して、住
まいの **健康診断** を考え
てみませんか？

お申し込み・お問い合わせ

けんみん住宅プラザ いわてハウジングフォーラム担当

電話 019-652-7744

ファックス 019-652-8123

URL <http://www.jutakuplaza.com>

主催 いわてハウジングフォーラム、岩手県

お知らせ

県立花巻広域公園県民ゴルフ場からのお知らせ

—期間限定謝恩特別料金の適用期間の延長—

利用者のみなさまからご好評をいただいていた夏季限定特別料金の適用期間がさらに延長されました。特別料金は10月31日まで適用されます。

いよいよ秋も本番を迎え、ゴルフ日和が続きます。澄み切った青空の下、思い切りスイングしてみませんか。

☆期間限定謝恩特別料金（～10月31日）☆

平日 4,100円 土日祝 5,100円

※手動カート代・利用税・保険料込み（電動カート使用別途料金）

※来年度の適用期間は、5月から10月までとなります。

☆薄暮プレー（～10月31日）☆

平日 2,600円 土日祝 3,600円

15時以降の受付の場合

平日 2,100円 土日祝 3,100円

お問い合わせ

県民ゴルフ場（岩手県立花巻広域公園内）

TEL : 0198-27-3280

URL : <http://www.echna.ne.jp/~suposhin/>

県民参加・NPO協働フォーラムのお知らせ

12月16日(日)アイーナで、フォーラムを開催予定。

道や川をきっかけとした地域づくりを行っている県内外の元気な皆さんとお話しませんか。

詳しくは、後日県土整備部HPでお知らせします。